

三井海洋開発株式会社

中期経営計画2017

2015年5月



目次

1. 前中期経営計画（2012～2014）の振り返り
2. 今回の中計における内外環境の分析
3. 対応策
4. 定量イメージ
5. 10年後の目指す姿

1. 前中期経営計画（2012～2014）の振り返り
2. 今回の中計における内外環境の分析
3. 対応策
4. 定量イメージ
5. 10年後の目指す姿

1-1. 中計2014実績 -プロジェクト

ブラジル、アフリカのターゲットエリアでプロジェクトを受注

2012年



- Petrobras
Iracema Norte
FPSO
(ブラジル)

2013年



- Petrobras
Carioca FPSO
(ブラジル)
- Tullow TEN FPSO
(ガーナ)

2014年

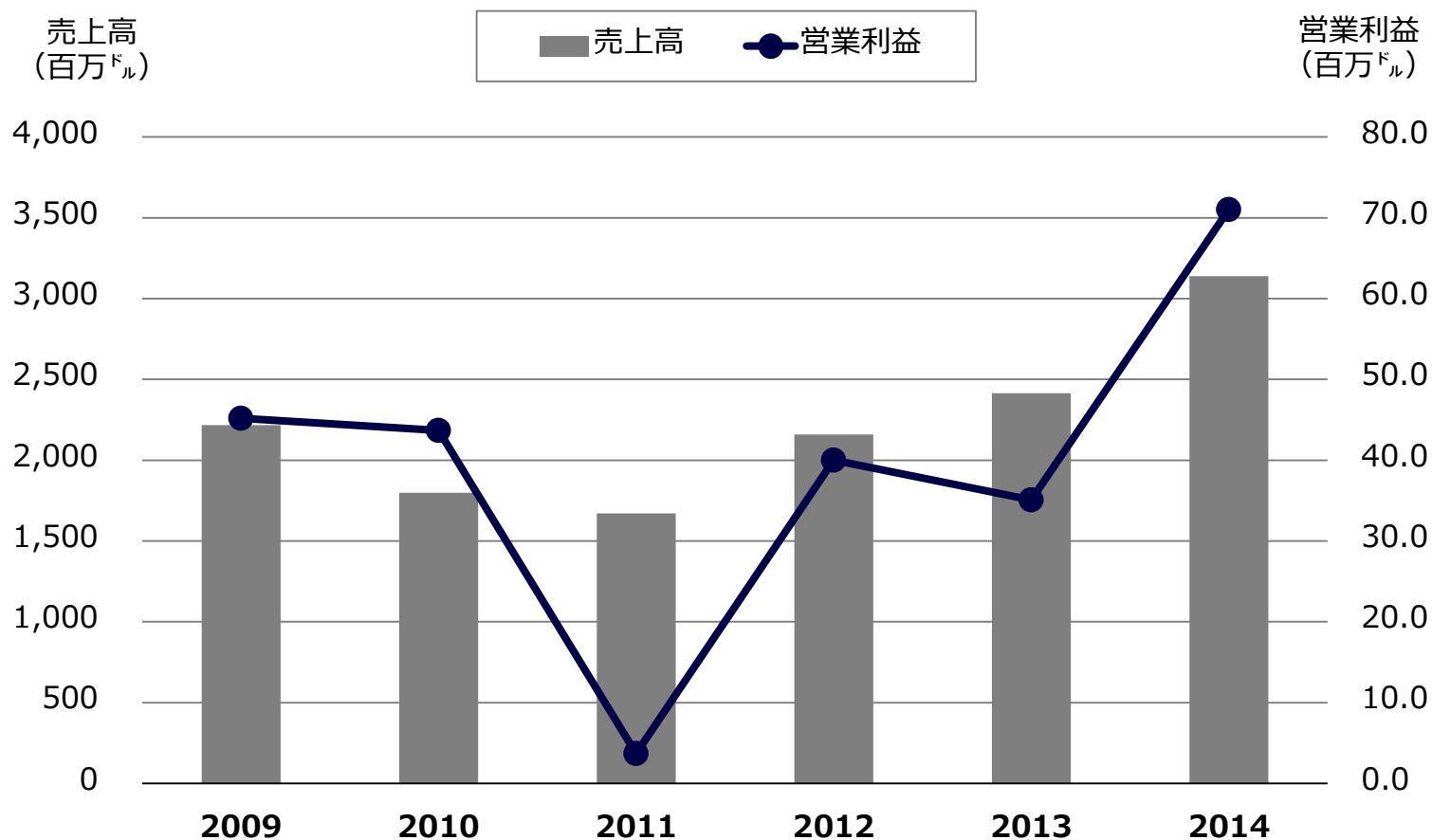


- Petrobras
Tartaruga FPSO
(ブラジル)

1-2. 中計2014実績 - 業績

売上高 3,785億円 (3,140百万ドル)

営業利益 85億円 (71百万ドル) / 未実現利益消去前 128億円



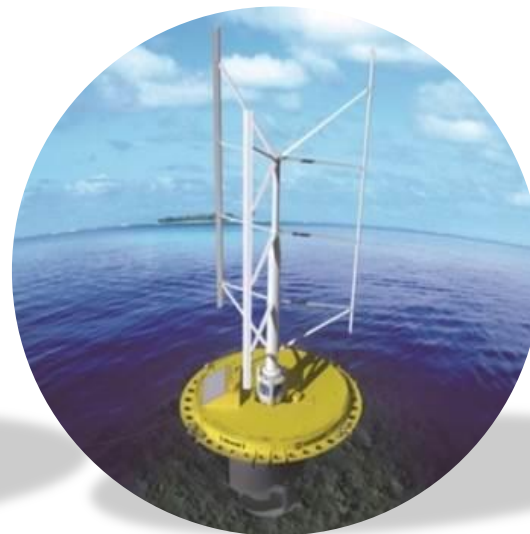
1-3. 中計2014実績 - 新規事業

ガス関連分野事業 / 新規事業に関する研究開発推進



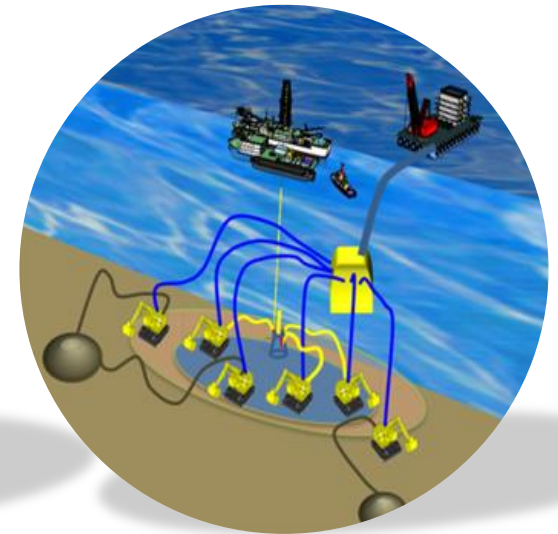
LiBro® FLNG

- FEED*を実施



skwid
浮体式潮流・風力
ハイブリッド発電

- 試作機完成
- 水没事故については原因検証中



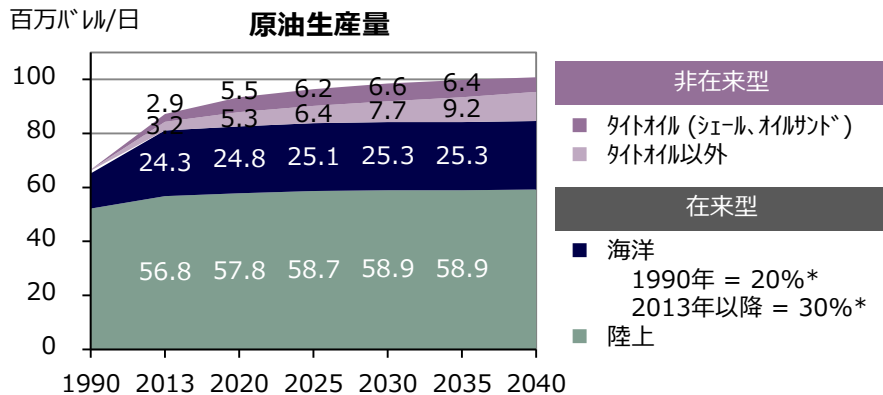
**大水深エアリフト
(海底鉱物資源FPSO)**

- 研究開発を継続中
- JOGMECから基礎研究を受託

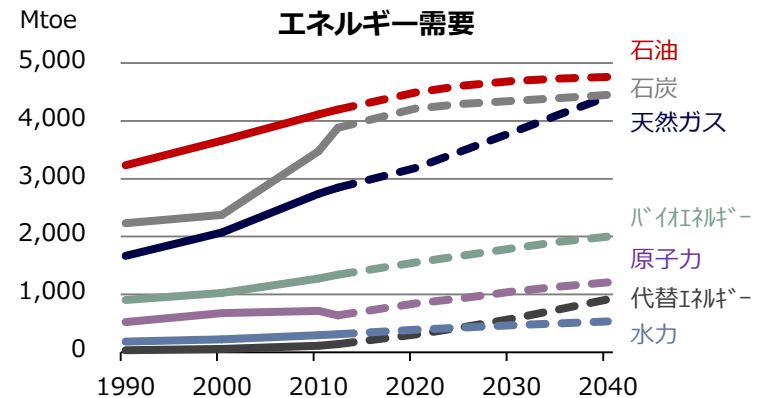
*FEED: Front-End Engineering & Design (基本設計)

1. 前中期経営計画（2012～2014）の振り返り
2. 今回の中計における内外環境の分析
3. 対応策
4. 定量イメージ
5. 10年後の目指す姿

2-1. 外部環境



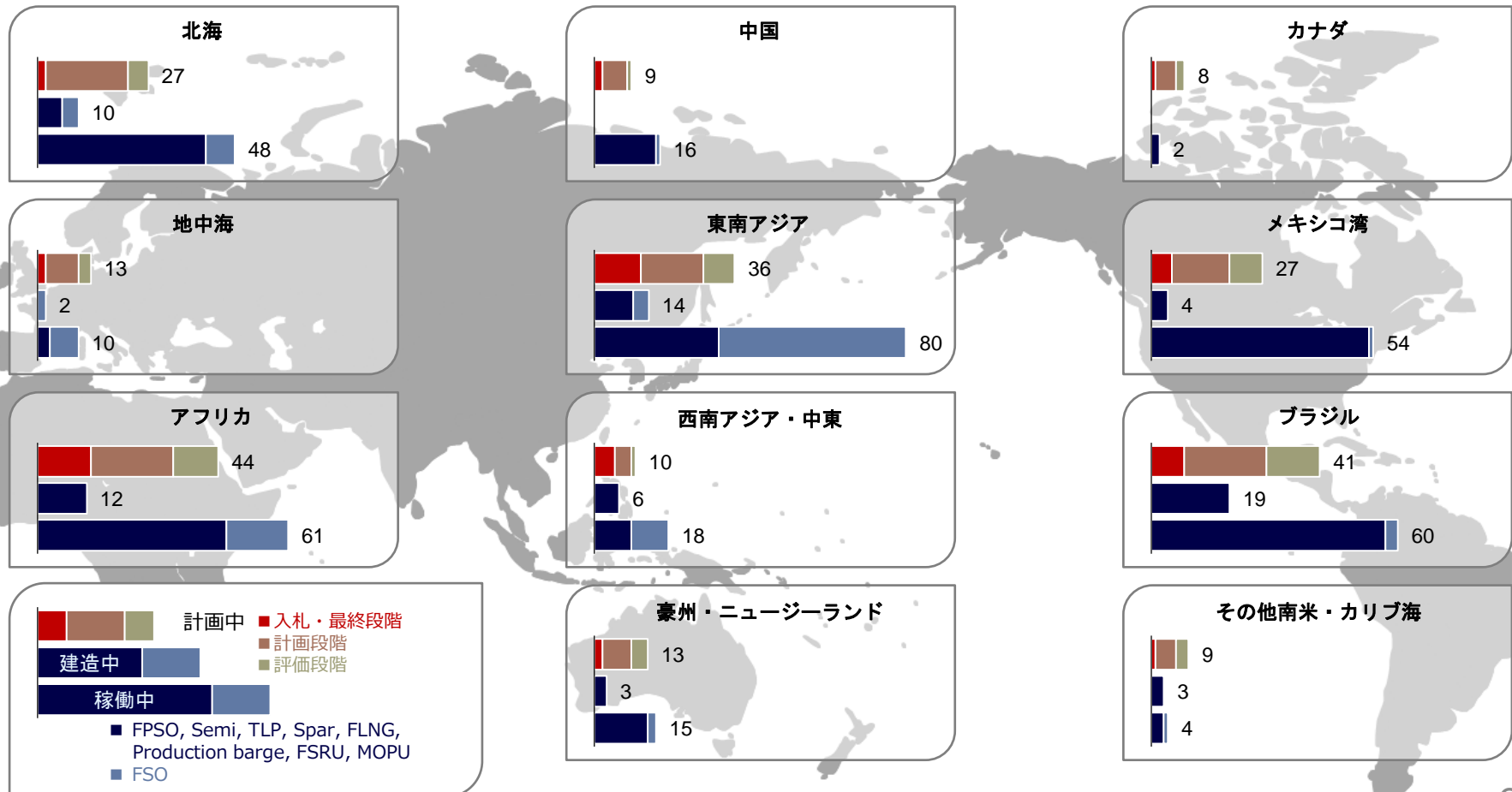
Source: World Energy Outlook 2014 (IEA)
 *海洋からの生産量割合は各種資料を基に当社予測



Source: World Energy Outlook 2014 (IEA)
 Mtoe: 百万石油換算トン

2-1. 外部環境 - 浮体式生産設備マーケット

浮体式生産設備の分布（稼働中、建造中、計画中）（2015年4月現在）
 - 今後もオフショア開発は見込まれる -



2-2. 内部環境

収益力

- プロジェクトの大規模化と安定した受注獲得により、建造工事売上が拡大
- 優良チャーター案件の積み上げにより、安定的なチャーター収益が増加

EPCI*

- 大型、大水深で技術的難易度の高い案件も着実に遂行できるプロジェクト・マネジメント力が向上
- プロジェクト実績の積み上げ(累計45件)

キャッシュフロー

- プロジェクトの大型化に伴い投資支出が増加、ファイナンス負担が増大

アセット マネジメント

- 延べ150年超のO&M*経験によるノウハウを蓄積
- 大型化・長期化に伴い、アセットマネジメントにおいて技術的なチャレンジが高まる

*EPCI: Engineering (設計), Procurement (資材調達), Construction (建造), Installation (据付)

*O&M: Operation & Maintenance (FPSO等のオペレーション&メンテナンスサービスの提供)

2-2. 内部環境 - 優良案件積み上げ



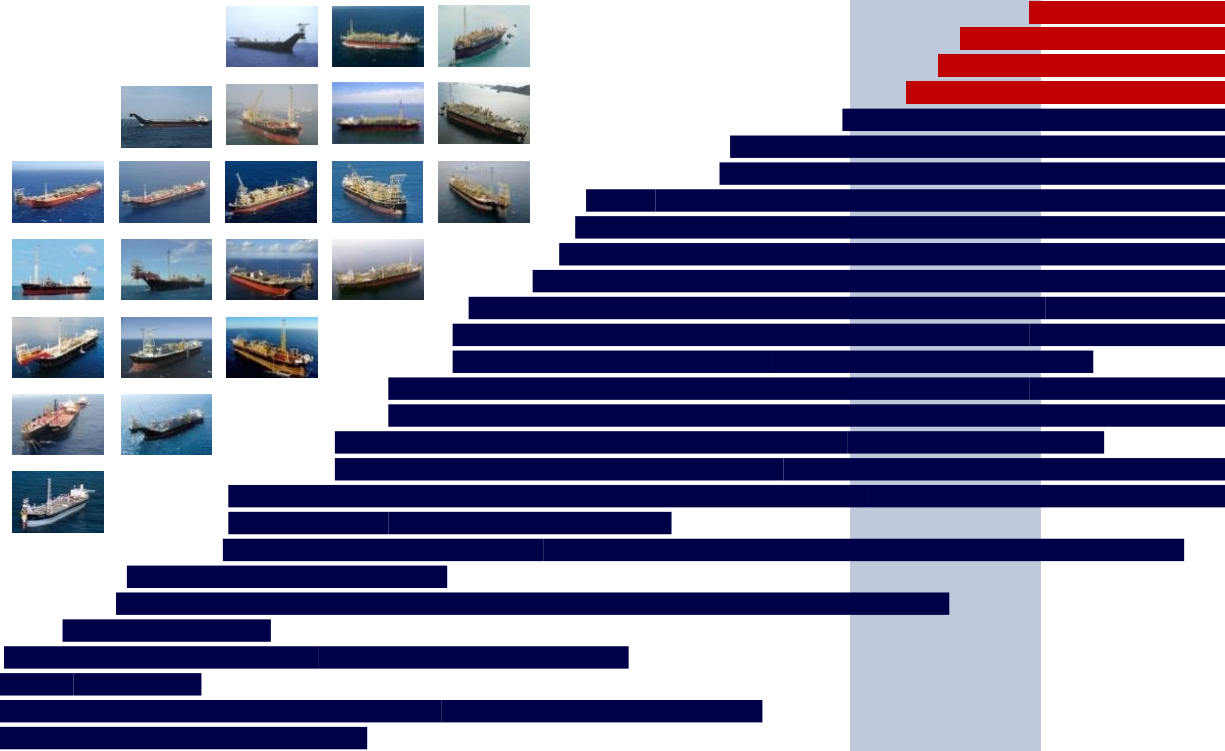
2000年

2015-2017年

O&M累積 7年
建造実績 11件
(2000年末)

- チャータープロジェクト
(2015-2017年生産開始)
- チャーター/O&Mプロジェクト
(オプション期間を含む)

O&M累積 約200年
建造実績 45件+a
(2017年末)



MV29



MV27



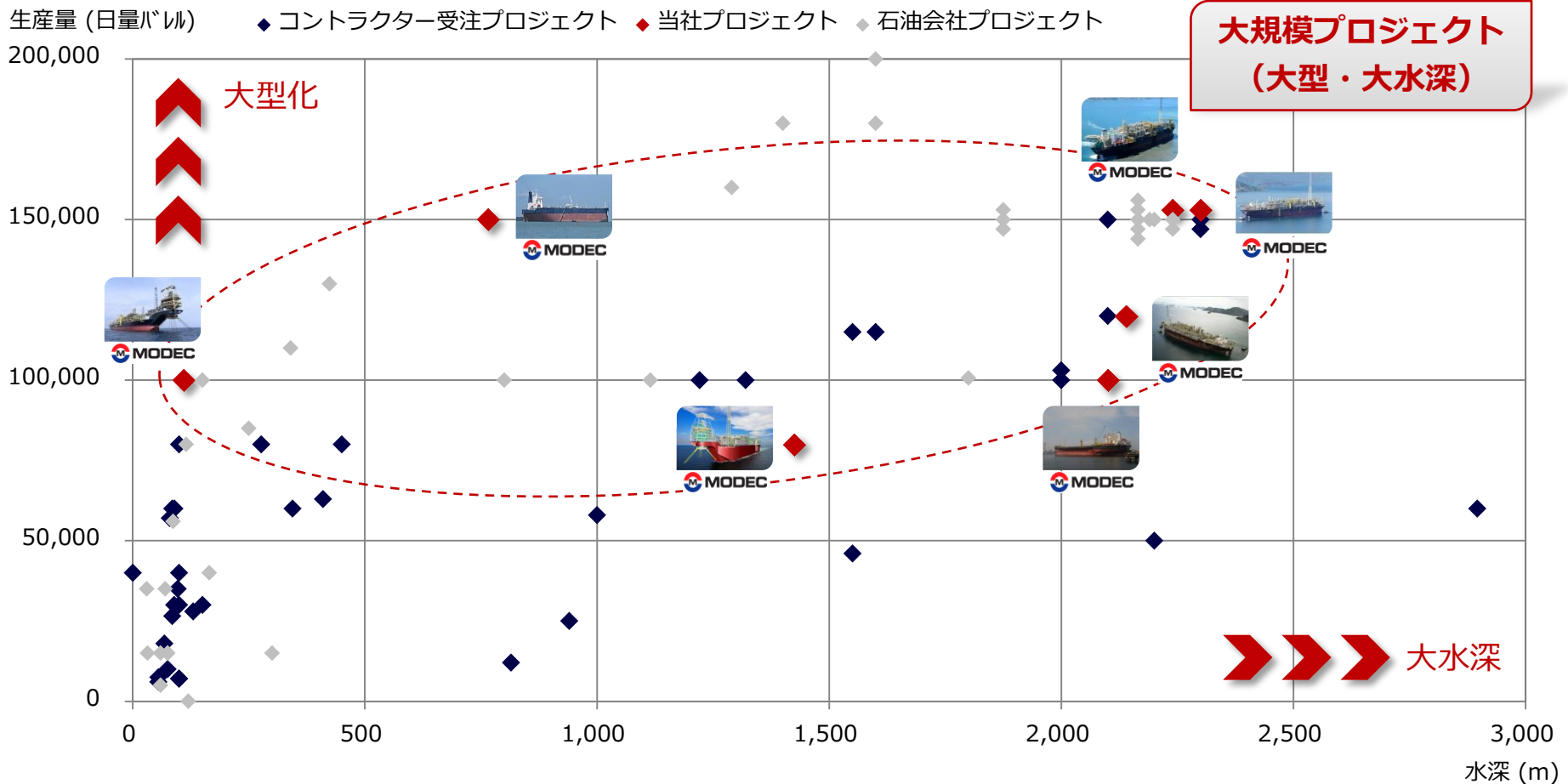
MV25



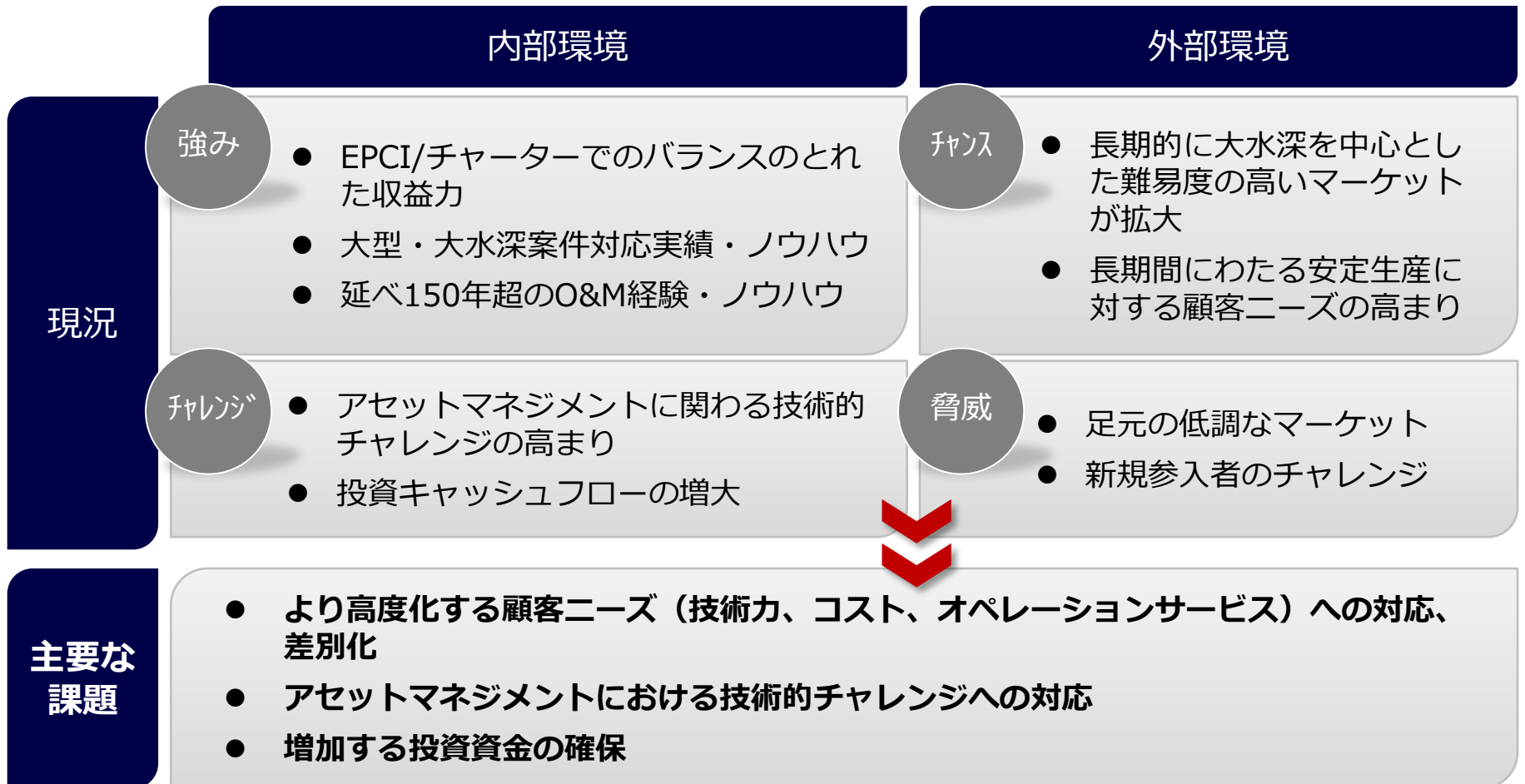
MV26

2-2. 内部環境 – 大規模案件対応力の裏付け

FPSO発注案件（2010-2015年）（2015年4月現在）



2-3. 内外環境から導き出されるもの

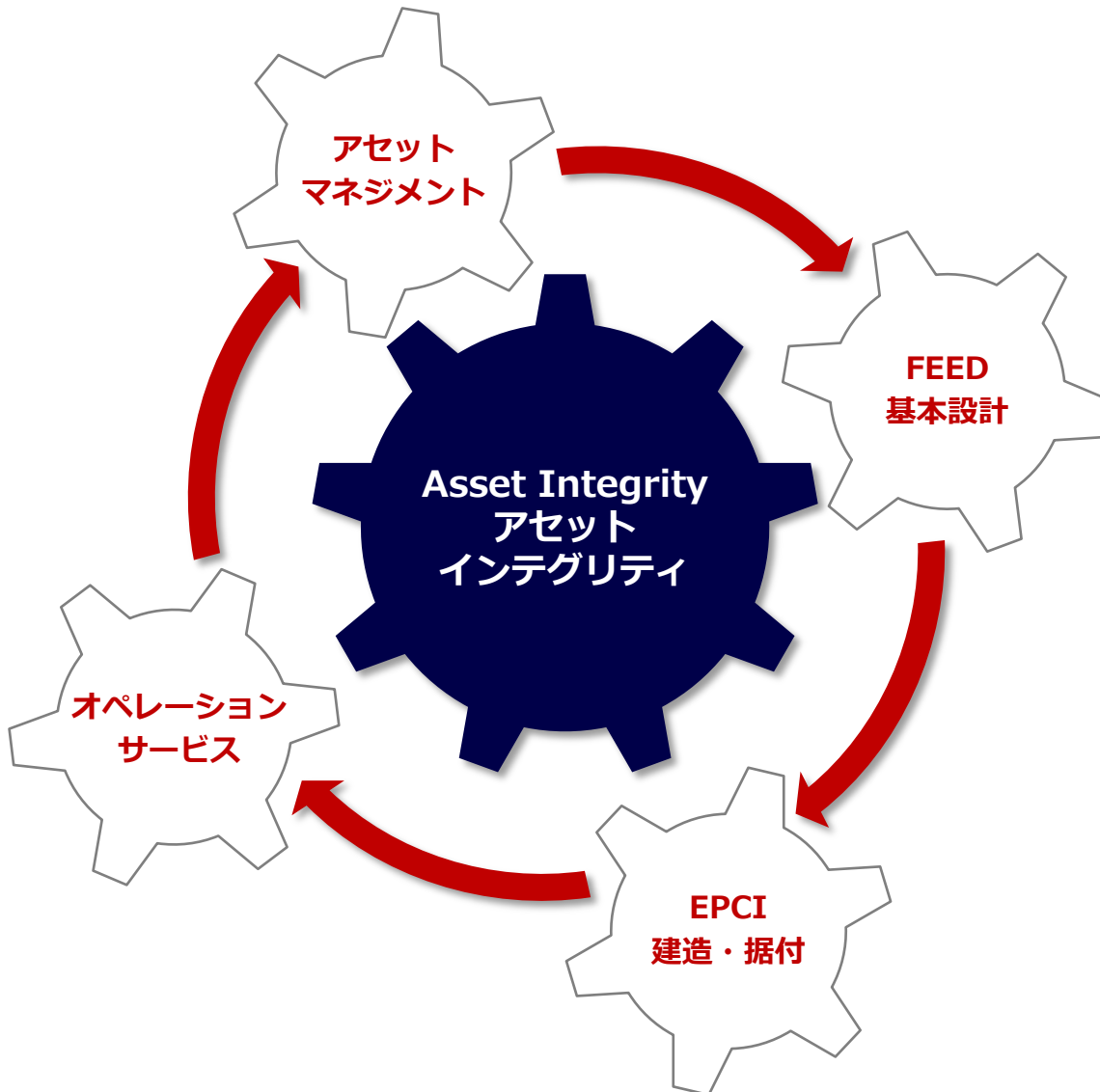


顧客満足を高めるために
求められるもの



Asset Integrity
(アセットインテグリティ)
に対する強いコミットメント

2-4. アセットインテグリティとは



**Asset Integrity
(アセットインテグリティ)**
とは、

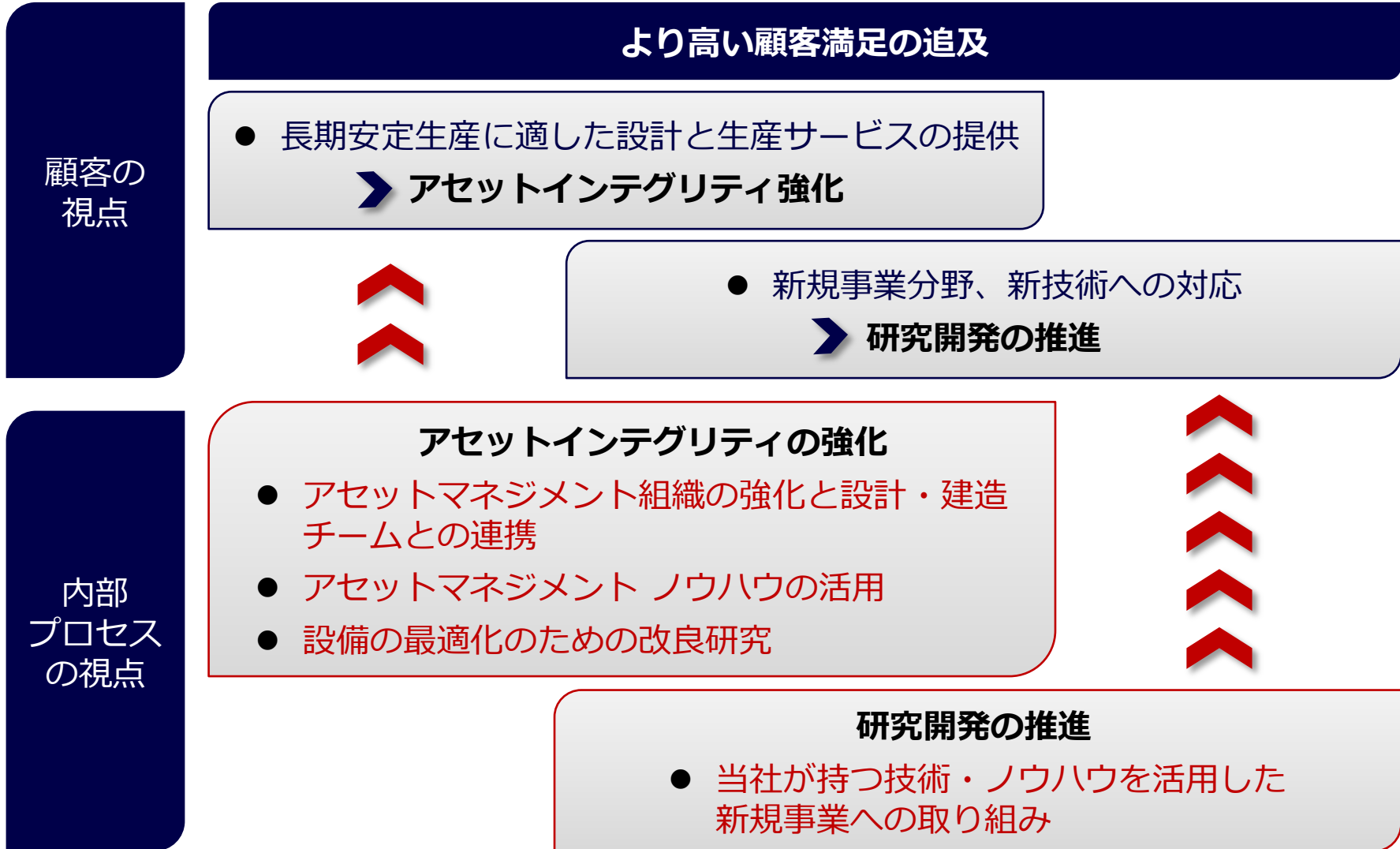
顧客が求める「長期にわたる安定的、効率的な生産を行う設備」を設計・建造し、

期待している通りのパフォーマンスを挙げられるよう、オペレーション・アセットマネージメントを通じてその設備の機能・状態を維持すること

当社は、設計から建造、オペレーションを一貫して行うことにより、それぞれのノウハウを背景に、高いレベルでのアセットインテグリティを実現できるポジションにある

1. 前中期経営計画（2012～2014）の振り返り
2. 今回の中計における内外環境の分析
3. 対応策
4. 定量イメージ
5. 10年後の目指す姿

3-1. アセットインテグリティ強化



3-2. 新規事業

将来に向けた継続的な取り組み

メタンハイドレート



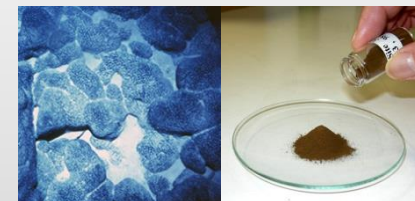
(左) 人工メタンハイドレートの燃焼写真
 画像提供: メタンハイドレート資源開発研究コンソーシアム

海底熱水鉱床



画像提供: 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

レアアース泥



画像提供: 石油天然ガス・金属鉱物資源機構、東京大学

海底鉱物資源開発



当社技術・ノウハウの活用

浮体設備 係留技術



アセットマネジメント /オペレーション



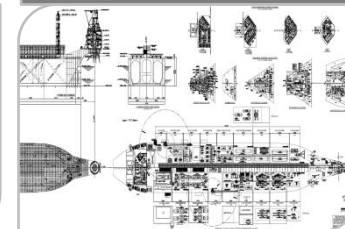
プロジェクトマネジメント



洋上生産技術



限られたスペースでの 洋上プラント設計



3-3. 競争力の更なる強化

顧客の
視点

より高い顧客満足の追及

- 価格競争力のある設計・建造・サービスの提供
➤ 競争力強化のための取り組み



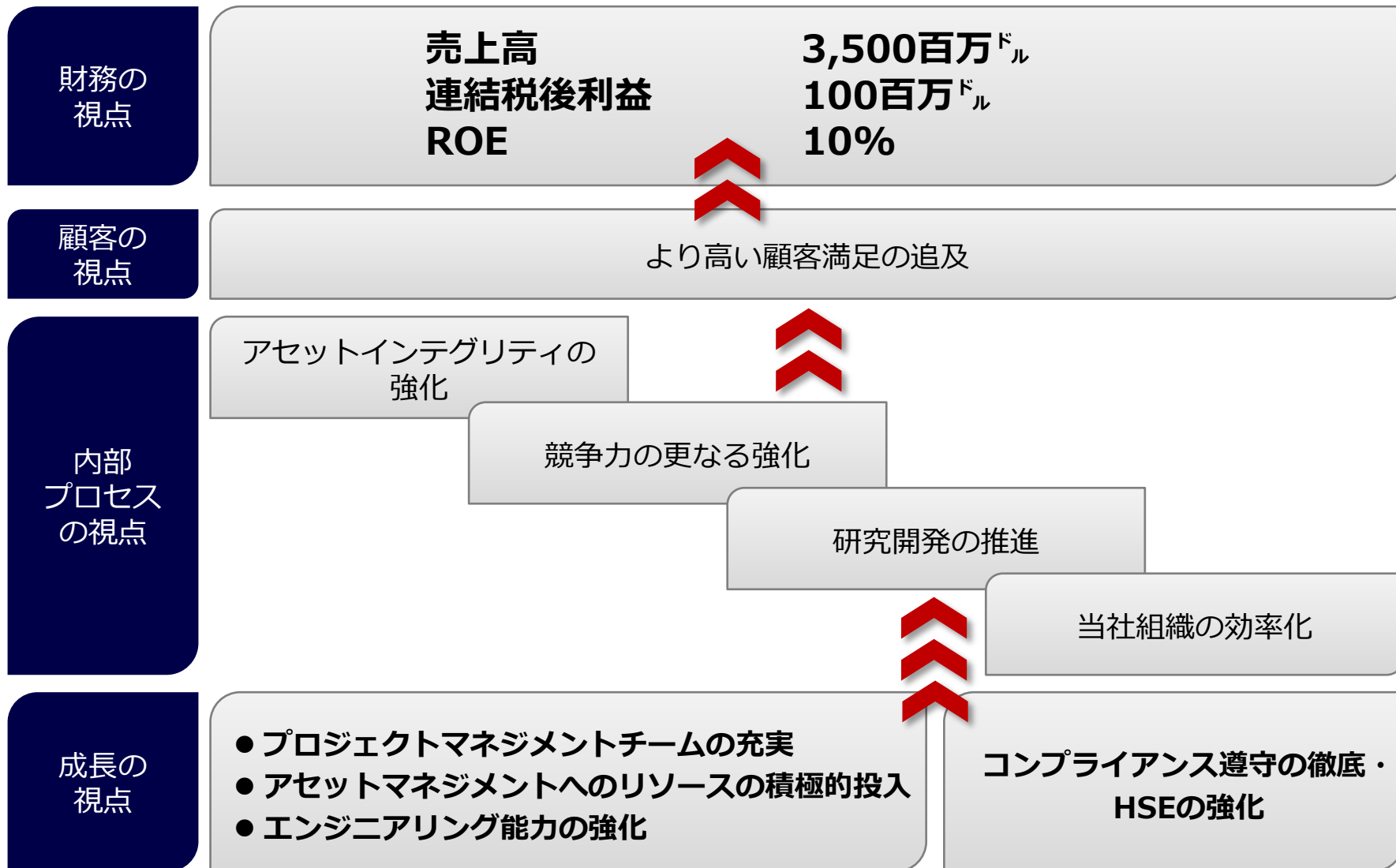
内部
プロセス
の視点

- ### 競争力の更なる強化
- 建造クオリティを維持しつつ、EPCI・O&Mの合理化、コスト管理強化の実行



- ### 組織の効率化
- 機能分社型子会社間の連携強化（全体最適、連結経営の追及）
 - 資金効率を高めるための、グループキャッシュマネジメントの強化

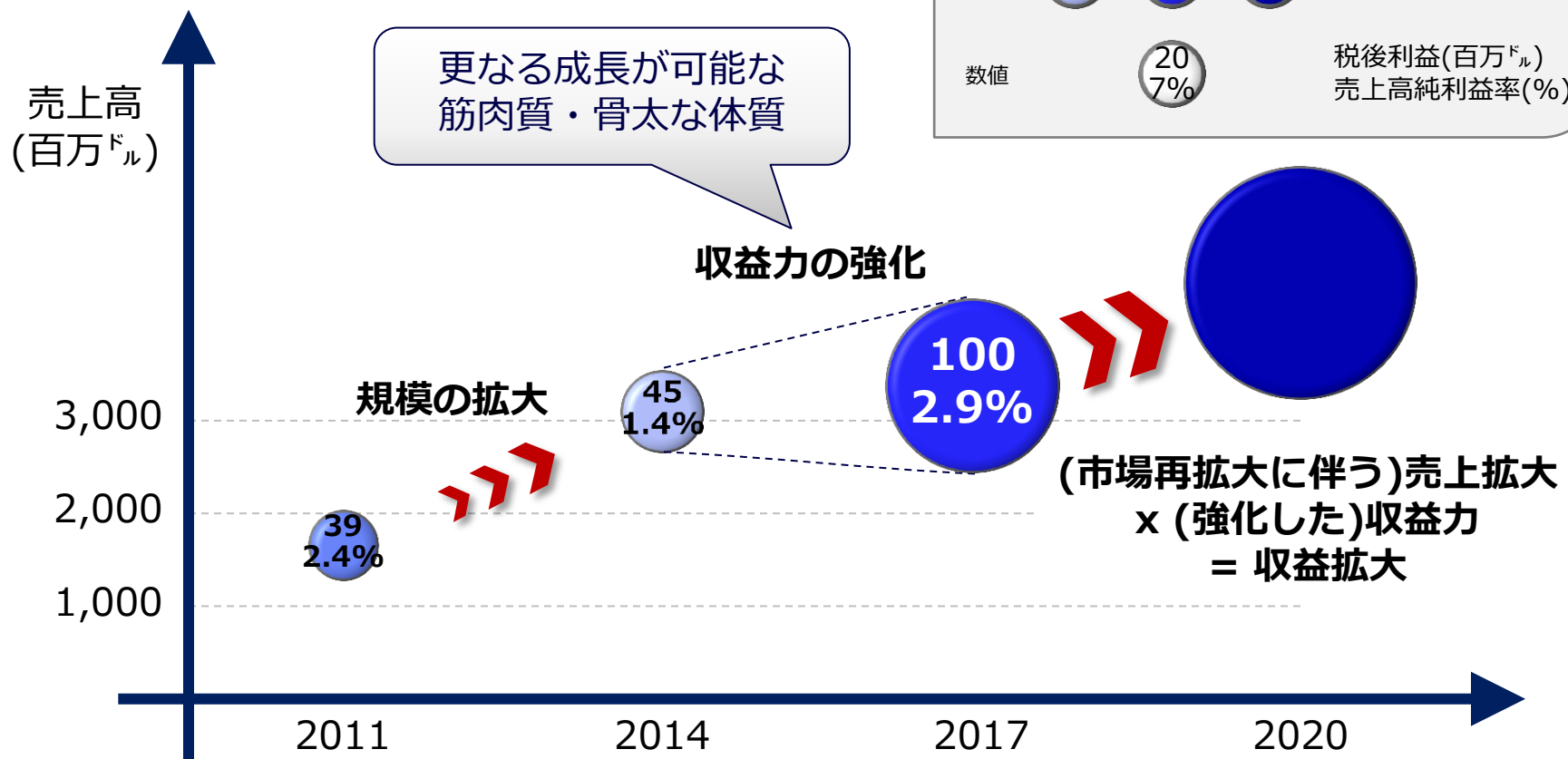
3-4. 対応策 - まとめ



1. 前中期経営計画（2012～2014）の振り返り
2. 今回の中計における内外環境の分析
3. 対応策
4. 定量イメージ
5. 10年後の目指す姿

4. 定量イメージ

大きさ ○ ○ ○ 税後利益
 色 ○ ● ● 売上高利益率
 数値 ○ 20 7% 税後利益(百万ドル)
 売上高純利益率(%)



売上高	1,672百万ドル	3,140百万ドル	3,500百万ドル
税後利益	39.5百万ドル	45.0百万ドル	100百万ドル
売上高純利益率	2.4%	1.4%	2.9%
ROE	5.9%	4.9%	10%

1. 前中期経営計画（2012～2014）の振り返り
2. 今回の中計における内外環境の分析
3. 対応策
4. 定量イメージ
5. 10年後の目指す姿

5. 10年後の目指す姿

MODEC WILL BE THE NO.1 ENERGY PRODUCTION SERVICE PROVIDER by utilizing variety of floating facilities.



免責事項

本資料に記載されている情報は、種々の前提に基づいたものであり、記載された経営指標や経営戦略の実現を保証するものではありません。